

設備工事部会 議員・部会役員アンケート結果 概要

(対象件数：191件、回答数：80件、回答率：41.9%)

問1.部会活動として今後重点的に取り組むべき項目を選んで下さい。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	若手人材の育成支援	51
2	業界の魅力発信	41
3	行政への要望活動	27
4	セミナー・情報提供	25
5	経営者同士の交流・情報交換	19
6	職業体験・見学	13
7	若手社員の交流・情報交換	13
8	(その他) ・デジタル化、DX化推進、建設部会の若手社員との交流	

問2.当部会の要望活動に関し、重点的に取り組むべき項目を選んで下さい。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	働き方改革の対応推進	54
2	事業量・予算の確保	30
3	多様な入札制度の拡大	9
1	<p>(働き方改革の対応推進について、行政に要望すべき事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革に見合った、予算と工期の確保 ・建築現場の週休2日制の推進、官庁工事の全てが週休2日を実施して欲しい ・今の労務単価では働き方改革に対応出来ない、事業の予算の確保をお願いしたい ・産後パパ育休や産休期間について、企業への助成金等の制定 ・女性や若者が働ける現場環境支援 ・2025年4月からの建設業における時間外労働の上限規制に関して、民間の建設工事における発注者側に対する「下請たたく」の禁止の徹底を希望します。 ・全産業一律の時間ではなく、多様な考え方を検討頂きたい。 ・発注者側の45時間以下の残業、4週8休を取り込んだ適正な工期の構築 ・働き方改革を進める上で使いやすい補助金等を増やしてほしい 	

2	<p>(事業量・予算の確保について、行政に要望すべき事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来（５年後～10年後）を見据えて計画された、毎年の工事発注量の確保。 ・無理のない工期、かつ妥当な予算 ・原材料、燃料価格高騰や人件費増加、環境問題への配慮等、市場動向に合わせた設計、見積積算段階での配慮と予算金額の見直し ・人手不足を考慮した建設計画が集中しないよう平準化された事業量が必要 ・1年間通しての安定した事業量の確保、特に冬期間の工事の増加 <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した設備について、先行して改修する予算の増額 ・ゼロ市債工事、複数年継続工事の拡充 ・継続した公共事業の発注で技能労働が継続して働ける環境を作ってほしい。若年労働者が育つ環境を保って頂きたい ・週休2日型工事を増加により、日給制の技能者は週5日労働になると収入が減るので、労務単価の増額をお願いしたい。「公共工事労務単価」は前年度調査によって定められるが、札幌市独自としても増額を検討お願いしたい
3	<p>(多様な入札制度の拡大について、行政に要望すべき事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共案件の様々な業者への発注並びに拡大 ・市内業者が均一に工事があたるように要望したい ・日頃の営業活動や過去の納入実績を考慮した入札業者の選定
4	<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有化、業界の人材確保に関する支援策、総合評価落札方式の評価項目 ・日本企業の価値を上げる為にも業務効率化を目的としたDX化へ、補助金助成金を含めた予算を多くみて頂きたい。それらの事業のサポートやフォロー体制の構築、強制力を持った改革を要望します。 ・若手育成（資格取得の助成金）や管理職の教育の助成金や補助金の拡大

問3.燃料・原材料価格高騰への対応について、貴社の状況を選んで下さい。

No	選択肢	回答数
1	販売価格に反映できている	46
2	販売価格に反映できていない	34

問4.業界として、今後当所と連携して実施したい事業・企画がございましたらご記入下さい。

<ul style="list-style-type: none"> ・建設業として、より良い働き方改革の提案 ・デジタル化、DX化の推進事業 ・電気工事業界として、工業高校電気科に進学する中学生が（少子化）もあるが激減している現状にあり、このままでは電気インフラ整備に携わる技術者が居なくなってしまう懸念がある。業界あげて中学生、小学生へのPRも行っているの、何らかの支援をお願いしたい

問5.令和6年4月に導入される建設業の時間外労働の上限規制適用への対応状況について、
貴社の状況を選んで下さい。

No	選択肢	回答数
1	既に対応できている	14
2	徐々に対応できている	34
3	対応できていない	32
1	<p>(「既に対応できている」事業者の取り組み事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・36協定の締結・届出、就業規則の改正・代休の活用 ・週40時間以内の労働を徹底 ・終業時刻15分前から一斉清掃を実施、帰宅時間の定着を意識づけている ・以前より受注件数を減らし時間外労働時間を減らすとともに、受注件数を上げるために社員の技術力アップができる努力をしている 	
2	<p>(「徐々に対応できている」事業者の取り組み事例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別条項の設定目つ就業規則の見直し ・代休の取得推進、ノー残業デーの設定、勤怠管理ソフトの導入 ・働き方改革に向けた全社員参加の意見交換会の開催、応援体制の構築 ・労務管理の徹底。社員の意識づけ ・建設業は労働時間の管理が難しいが、会社も社員も労働時間に対するきちんとした認識をもつ意識改革でかなり違ってきました ・事業部店契約者を採用、社員の業務量をシェアし時間外労働を縮減させている ・時間外労働の上限に対して、具体的な数値で示し上限を超えないように会社として人員を応援するなど対策を指示している ・ICT機器を導入し施工管理業務の生産性向上。ノートPCの個人支給、施工管理アプリ、現場担当者へiPadの配布等 ・事前の時間外の申請書の提出 ・週休二日制の導入など出来る限り実施している 	
3	<p>(対応できていない要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材不足：84.4% ・業務量過多：68.8% ・無理な工期設定：50.0% ・元請の理解が進んでいない：43.8% ・デジタル化の遅れ：18.8% <p>(その他要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期があり、仕事量が平準ではないため ・管理能力不足 	

問6.働き方改革において、今後当所で実施すべき事業を選んで下さい。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	取り組み事例の紹介（パンフレット等）	56
2	セミナー	27
3	意見交換会	23
4	専門家の派遣	8
5	<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注者側への現場週休2日制の取組徹底への働きかけ ・事業規模にあった実例の紹介 ・会員向け労働管理システムの提供 	

問7.人材確保について、現在の貴社の状況をお聞かせ下さい。

No	選択肢	回答数
1	慢性的に人手不足	48
2	繁忙期のみ人手不足	23
3	充足している	4
4	(その他) ・若手従業員が減少、高齢化が進む	

問8.人材確保のために、取り組むべき重要項目を選んで下さい。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	待遇改善	52
2	働き方改革の推進	49
3	業界PR・認知度向上	39
4	女性の活用	31
5	外国人材の活用	10
6	(その他) ・定年時期の延長と賃金確保、シニア経験者の再雇用 ・未経験者への教育カリキュラムの作成 ・学校教育における「働く事の重要さや喜び」を学べる仕組み作り	

問9.人材確保のためには、どのような取り組みが効果的であるとお考えですか。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	学校への募集活動	46
2	SNSによる企業・業界のPR	39
3	現場見学	32
4	就職支援サイトへの登録	30
5	インターンシップ	29
6	合同企業説明会への参加	14
7	(その他) ・働き方改革の推進、土日祝日を確実に休めるような業務体制を作り上げること	

問10.人材育成のためには、どのような取り組みが効果的であるとお考えですか。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	資格取得支援	63
2	研修・職業訓練	61
3	現場視察会	17
4	他業種との交流	12
5	CCUSの導入推進	5
6	(その他) ・働く事の意義を考えさせる、将来の想像、働く事に対する既成概念の払拭 ・社会人としての基本的な人格育成。コミュニケーション能力の向上への取り組み	

問11.自社のCCUS（建設業キャリアアップシステム）の登録状況について教えてください。

No	選択肢	回答数
1	事業者登録をしている	54
2	事業者登録をしていない	26

問12.社員のCCUS（建設業キャリアアップシステム）の登録状況について教えてください。

No	選択肢	回答数
1	全技能者が登録している	26
2	登録技能者は半数以上	8
3	登録技能者は半数未満	13
4	登録していない	33
5	（登録が進んでいない要因） <ul style="list-style-type: none"> ・建設業キャリアアップシステム自体を知らなかった。制度を熟知していない ・取引先の多くが必要としない。大きな現場に入場しない為、必要としていない ・業務繁忙のため。写真撮影・書類作成の時間が取れない ・個人個人の登録にしているが手を付けていない従業員がいるため 	

問13.人材確保・育成について、今後当所で実施すべき事業を選んで下さい。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	先進的な取り組み事例の紹介	49
2	人材紹介企業との連携	40
3	意見交換会	23
4	視察会	22
5	（その他） <ul style="list-style-type: none"> ・各種学校との連携を行い、業界各々の仕事の社会的意義ややりがいを生徒に伝える 	

問14.最新のデジタル・ITの活用について、貴社の状況を教えてください。（複数回答可）

No	選択肢	回答数
1	オンライン会議システムの活用	50
2	勤怠管理システムの導入	33
3	情報共有のデジタル化／顧客管理システムの導入	30
4	文書の電子化／社内稟議・決済システムの導入	28
5	最新機材の導入	15
6	遠隔臨場への対応	13
7	BIM／CIMの導入	12

問15.最新のデジタル・ITの活用について、当部会で取り組むべき項目を選んで下さい。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	先進的事例の紹介	60
2	セミナー等の情報提供	34
3	メーカーによる説明会・展示会	28
4	視察会	15

問16.最新のデジタル・ITの活用について、貴社の課題について教えて下さい。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	IT人材の不足	41
2	情報不足	38
3	費用対効果が低い	33
4	資金の確保	24

問17.カーボンニュートラルの実現に向けて、貴社で行っている取り組みを教えてください。

No	選択肢	回答数
1	事務所のLED化	66
2	エコカーの導入	66
3	事務所での太陽光発電設置	7
4	自然由来エネルギーへの転換	4
5	無し	6
6	その他 ・省エネ機器の導入 ・社屋における冷暖房等のシステムに地中熱を利用	

問18.当所の事業についてどのように情報を受け取られていますか。(複数回答可)

No	選択肢	回答数
1	さっぽろ経済	34
2	部会ニュース	31
3	HP	30
4	メールマガジン	27
5	FAX	13
6	LINE	1
7	Instagram	0
8	Facebook	0

問19.最後に、当所に対してご意見等ございましたらご記入ください。

- ・ 特にご意見はありませんでした